

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和04年10月13日

計画の名称	中心市街地地区都市再生整備計画											
計画の期間	平成31年度～令和04年度(4年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	与那原町											
計画の目標	公共施設再編を契機とした賑わい溢れる交流拠点の形成と活力あるまちづくりを目指す。 ・行政機能の充実による住民交流の場の創出 ・歴史と文化を活用したまちづくりの推進											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,229	A	1,229	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値	最終目標値 (R4末)
1	町民ホールイベント参加者数14,850人(既存公共施設によるイベント参加者数)から23,000人(R4年度)に増加 町民ホールで開催されるイベントへの参加者数	14850人/年	人/年	23000人/年
2	特定健診受診率を45.9%(H28年度)から56.0%(R4年度)へ向上 特定健診を受診する町民の割合	46%	%	56%
3	与那原町軽便駅舎資料館の来場者数7,730人(H29年度)から8,000人(R4年度)に増加 与那原町軽便駅舎資料館の年間来場者数	7730人/年	人/年	8000人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	与那原町	直接	与那原町	-	-	中心市街地地区都市再生 整備計画	地域生活基盤施設（誘導サイ ン）、高質空間形成施設（石 畳舗装、カラー舗装）、高次 都市施設（町民ホール）等30 .5h a	与那原町	■	■	■	■		1,229	-	未策定	
											小計						1,229			
											合計							1,229		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02	R03		
配分額 (a)	200	157	3		
計画別流用増△減額 (b)	0	5	0		
交付額 (c=a+b)	200	162	3		
前年度からの繰越額 (d)	0	100	0		
支払済額 (e)	100	262	1		
翌年度繰越額 (f)	100	0	2		
うち未契約繰越額(g)	0	0	1		
不用額 (h = c+d- e- f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	33.33		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由			舗装資材の選定及び看板設置位置について地域住民等との調整に不測の日数を要したため		

事前評価チェックシート

計画の名称： 中心市街地地区都市再生整備計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

参考図面

計画の名称	中心市街地地区都市再生整備計画	交付対象	与那原町
計画の期間	平成31年度 ~ 令和4年度 (4年間)		

